

1. 回答者

機械電気工学科 5 年生 18 名 (回収率 69%)

進路 就職 10 名 進学 8 名

2. 日本や世界の出来事への関心

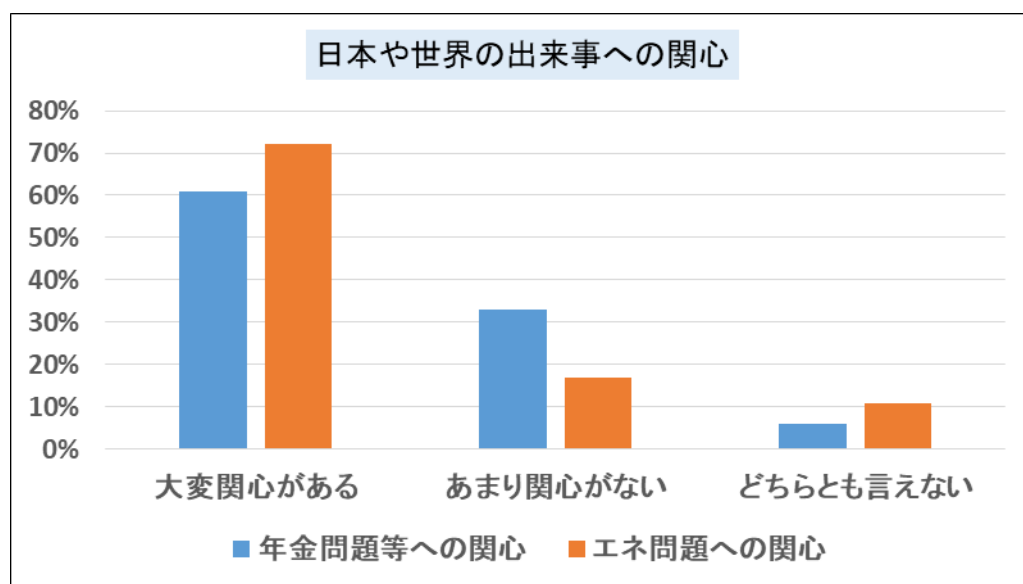
年金問題、少子高齢化等日本の将来への関心について、該当するものをチェック下さい。

* カッコ内の数値は回答者数を示す (以下同じ)。

(11) 大変関心がある。 (6) あまり関心が無い。 (1) どちらとも言えない。

エネルギー問題への関心について、該当するものをチェック下さい。

(13) 大変関心がある。 (3) あまり関心が無い。 (2) どちらとも言えない。



日本のエネルギー自給率について、該当するものをチェック下さい。

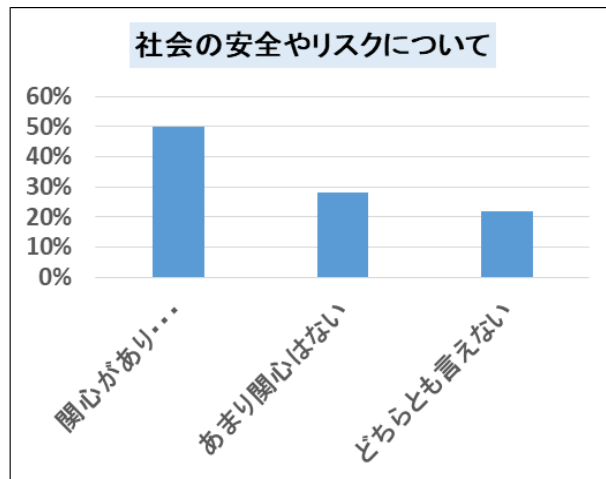
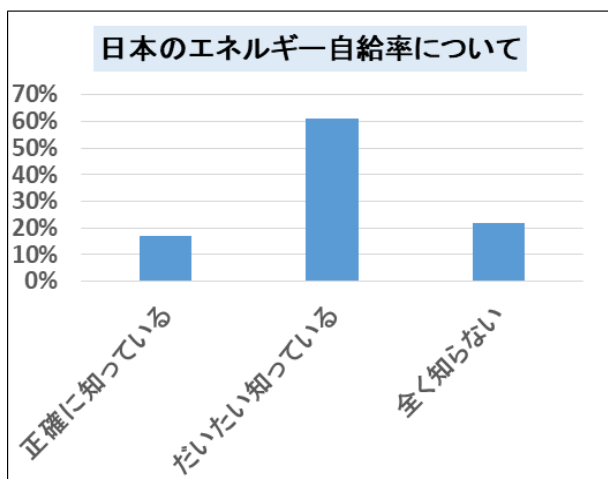
(3) 日本のエネルギー自給率を正確に知っている。

(11) だいたい知っている。 (4) 関心を持ったことはなく全く知らない。

社会一般の安全やリスク (交通安全、食品安全、医療安全など) への関心について、該当するものをチェック下さい。

(9) 関心があり情報を得るように心がけている。

(5) あまり関心はない。 (4) どちらとも言えない。



3. 今回の遠隔講演、対話について伺います。該当するものをチェックして下さい。

—画像、音声

(4) 画像、音声とも問題なかった。

(14) 画像、音声とも改善の余地がある。(具体例；部屋を別にしないと声が聞こえない。接続に時間がかかり、途切れることがあった。ハウリングがあった。)

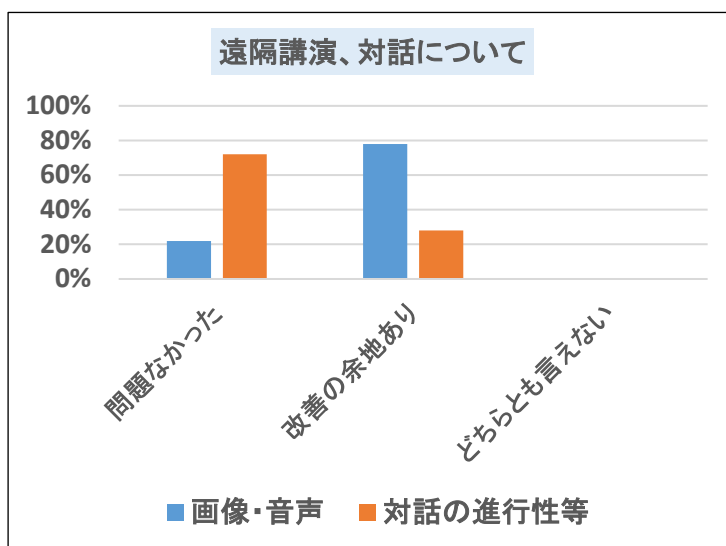
(0) どちらとも言えない。

—対話の進行や双方向性について

(13) 一定の双方向性があり適切な進行であった。

(5) 進行や双方向性については改善の余地がある。(具体例：事前の対話接続準備が必要。回線が悪く、一人しか喋れない。)

(0) どちらとも言えない。



4. 講演の内容は満足のものでしたか？その理由は？

(3) とても満足 (13) ある程度満 (2) やや不満 (0) 大いに不満

理由：(誤字を除いて原文のままとした。以下同じ。)

- ・最初の進行がスムーズでなかった。(やや不満)
- ・あまり興味が湧かなかった。

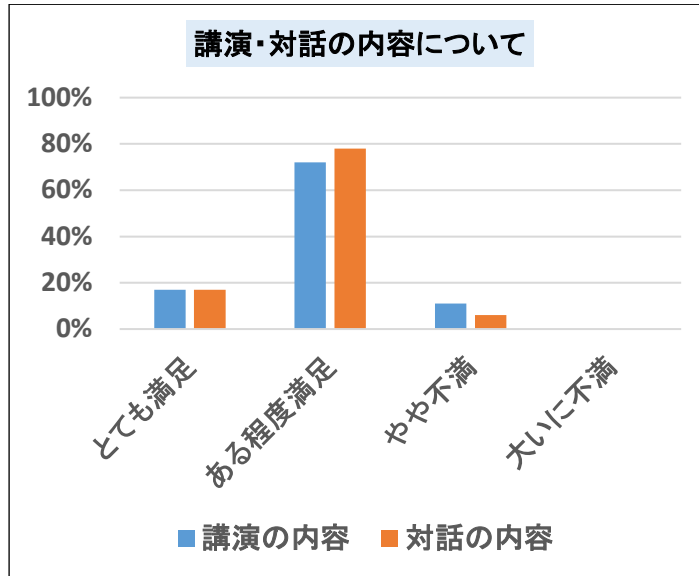
- ・知らないことが知れた。
- ・知らない話をよく聞いた。

5. 対話の内容は満足のものでしたか？その理由は？

(3)とても満足 (14)ある程度満足 (1)やや不満 (0)大いに不満

理由：

- ・原発のいいところや悪い点を聞けてためになった。
- ・知らなかったことを知れた。
- ・対話の中で聞きたいことができたときにすぐ聞いた。
- ・電気について知れた。

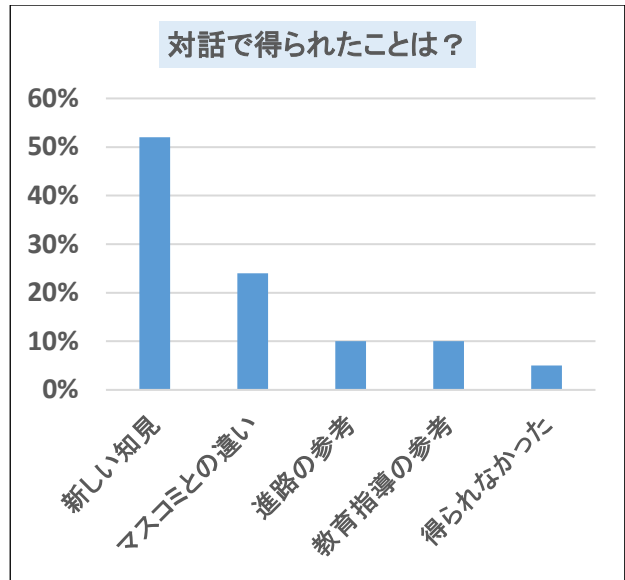
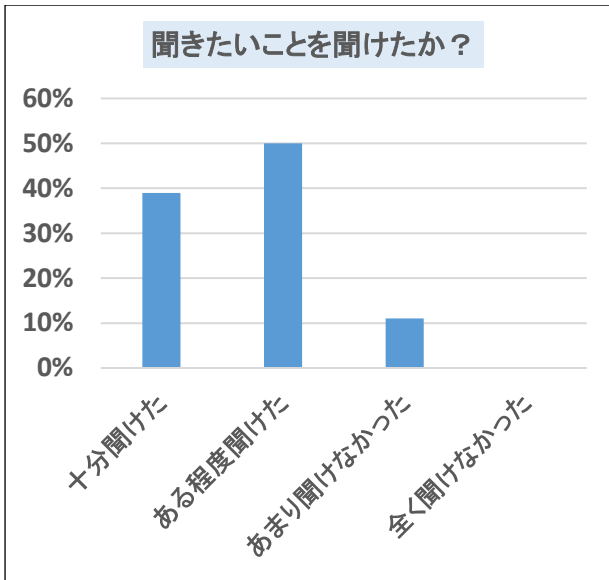


6. 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？

(7)十分聞くことができた (9)ある程度聞くことが出来た
(2)あまり聞けなかった (0)全く聞けなかった

7. 今回の対話で得られたことは何ですか？（複数回答も可）

(11)新しい知見が得られた。 (5)マスコミ情報と今回の対話会情報に違いがあった。
(2)自分の将来の進路の参考になった。 (2)教育指導の参考になった。
(1)特に新しい知見は得られなかった。 (0)その他 (具体例：)



8. 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？

(4) 非常にある (12) ややある (1) あまりない (0) 全くない (1) 無回答

理由：

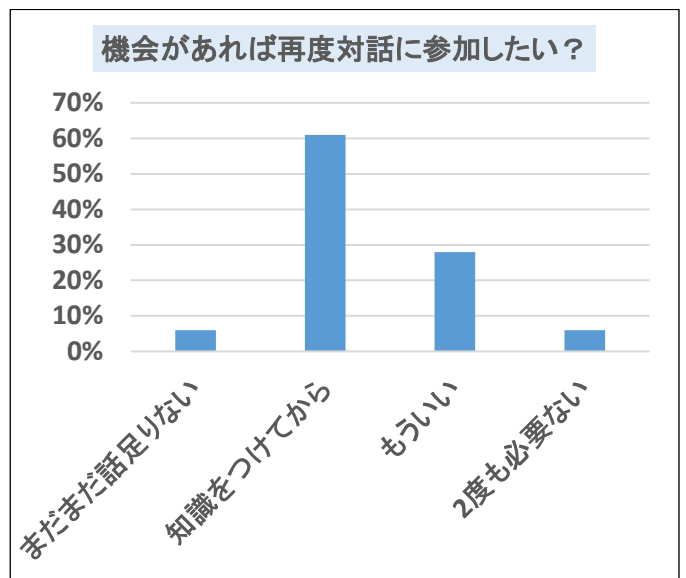
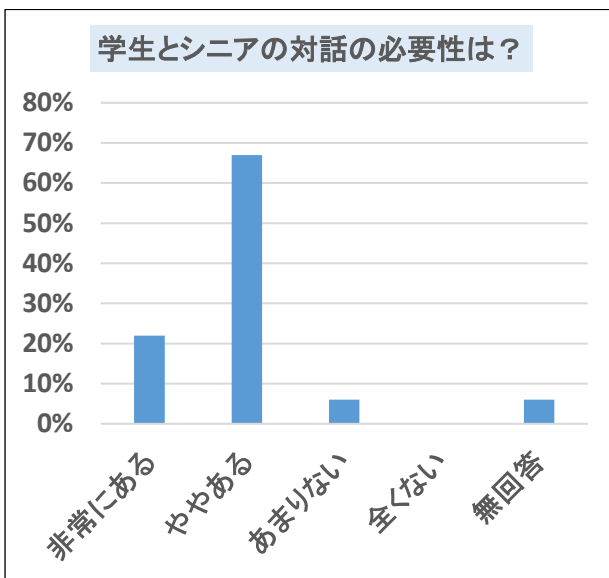
・ 様々なことを経験し変化の流れを見てきているので、新しい知識が得られる。

9. 今後、機会があれば再度シニアとの対話に参加したいと思いますか？

(1) まだまだ話したりないので参加したい (11) もっと知識を増やしてから参加したい

(5) 十分話ができたからもういい (1) 二度も必要ないと思うからもういい

(0) その他 ()



10. 放射線、放射能に対して伺います。(複数回答も可)

① 放射線、放射能はやはり怖い。(8)

② 一定のレベルまでは恐れる必要はないと以前から知っていた。(10)

③ 一定のレベルまでは恐れる必要がないことを講演、対話から理解できた。(4)

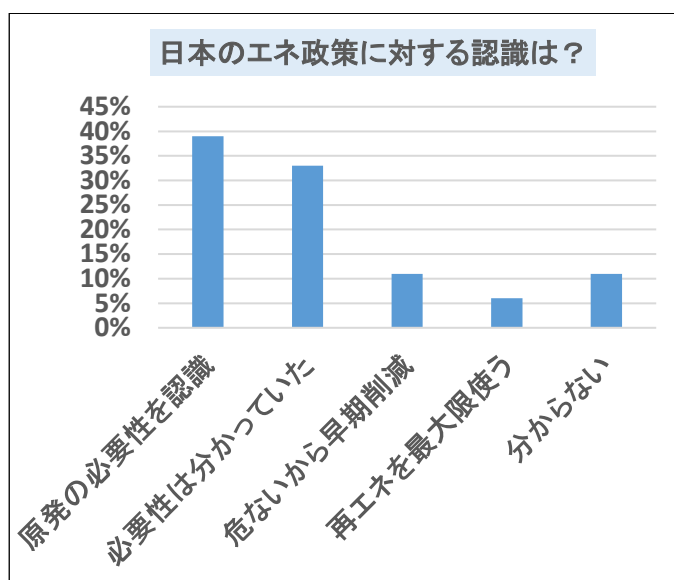
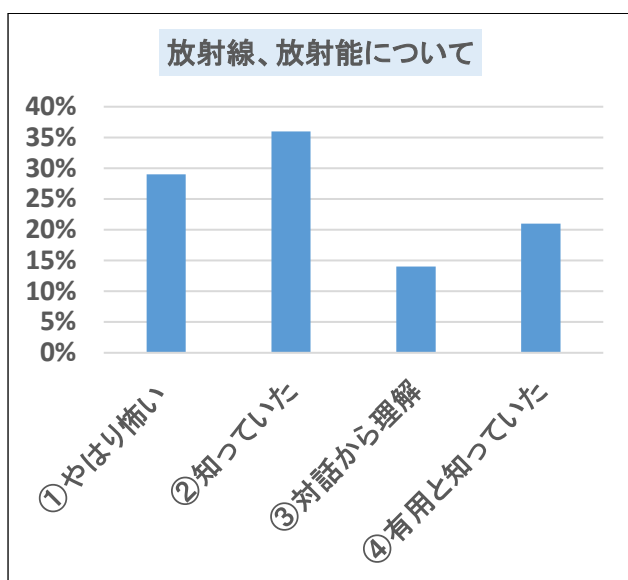
④ 放射線、放射能は生活に有用であることを前から知っていた。(6)

1 1. 日本のエネルギー政策では、原子力発電を基幹電力（2030年に発電電力20～22%）とし、今後は省エネ・再エネ利用の拡大や火力の高効率化により可能な限り削減していくとされています。対話も含めてあなたの認識は次のどれですか？その理由は？（複数回答も可）

- (7) 原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない。
- (6) 原子力発電の必要性は分かっていたので、認識は変わらなかった。
- (2) 原子力発電の必要性は分かるが、やはり危ないから早期に削減又は撤退すべきだ。
- (1) 原子力発電を止め、再生可能エネルギーを最大限使えばよい。
- (2) どうすればいいかよく分からない。

理由：

- ・化石燃料の使用を消滅したいから。
- ・太陽光発電の導入に補助金を出したらどうでしょうか？（再エネを最大限に使う）
- ・分かりません。
- ・どんなに対策をしても、自然相手ではいつ何時想定外のことが起こると限らない。（早期削減）



1 2. 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

- ・未来の地球環境を改めて真剣に考える時間をいただきありがとうございます。
- ・今までは原発を過度に恐れすぎていたことを知るきっかけになったのと、これからは火力に頼らずに電気をつくっていく必要があると再認識しました。
- ・原子力発電についての必要性を感じる事ができた。
- ・難しい話でした。

まとめと感想（若杉）

- ・遠隔講演・対話にMS Teamsを活用したがはじめての試みであったため、スタートの時点で会議場に入れなかったり、途中で会話が途切れたり、PC操作上の問題が多発した。また、学生側からも同じ部屋でグループ対話を行ったので隣の声が聞こえて対話し難かったとの問題提起、数人の学生が1台のPCを使うケースがあり自由に発言し難かった等、今後の課題となった。

- ・講演と対話の内容に対しては、“とても満足”よりも“ある程度満足”を選択した学生が多かった。これは従来の対話会に対する学生の反応から逆転している。その理由は詳しく記述されていないので正確には分からないが、「知らないことを知れた」や「あまり興味が湧かなかった」等から推測すると、直接対話より遠隔の方が学生とシニアのコミュニケーションが効果的でなかったのか、テーマや話題が難し過ぎたのかの理由が考えられる。
- ・対話の必要性についても“非常にある”より“ややある”の方を選択した学生が多く、これも従来の対話会の傾向から逆転している。その理由も前項と同様に考えられる。
- ・日本のエネルギー政策については、大多数が原発の必要性を知っていたか講演・対話で理解したと答えている。しかしアンケート回答者 18 人のうち 8 人が“放射線・放射能はやはり怖い”にチェックを入れ、5 人が“原発の削減”、“再エネ”、“分からない”のいずれかを選択したことを重く受け止めるべきと考える。

以上